

名戸ヶ谷ビオトープだより

第 61 号 2015 年春号

<http://nadogaya-biotope.org/>

名戸ヶ谷ビオトープを育てる会 発行

発行責任者：篠崎 将 Tel/Fax 04-7173-6353

ニホンアカガエルの卵塊調査

2月中頃に村川さんから卵塊発見メールをいただき、昨年よりも10日早い2月20日からニホンアカガエルの卵塊調査を開始し、3月27日まで6回実施しました。詳細は下記の通りで、卵塊数のピークは2/20と2/27でした。昨年うるち田 No.5 を休耕田にし、この場所の数は大きく減少しました。昨年と同様に3月後半にアズマヒキガエルの長いヒモ状の卵塊をうるち田 No.7 に確認しました。因みに各エリアごとのピーク数を合計すると107個で昨年は79個で28個の増加でした。最終日では卵塊は崩れて確認出来ず、三角池では数多くのおたまじゃくしが泳いでいました。無事に育って欲しいものです。

(藤平三郎)



ニホンアカガエル成体



ニホンアカガエルとヒキガエルの卵塊



アズマヒキガエル成体

(A：Aゾーン・B：Bゾーン)

月 日	卵塊数	天気等	特 記
3月27日(金)	0 (A: 0 B: 0)	晴れ、気温 20 度	卵塊確認できず、アズマヒキガエルの卵塊孵化
3月20日(金)	13 (A: 13 B: 0)	曇り、気温 10 度	B 孵化、うるち田 No7 ヒキガエル卵塊 47 個
3月13日(金)	45 (A: 31 B: 14)	晴れ、気温 13 度	もち田 No4 12 個
3月6日(金)	28 (A: 13 B: 15)	曇り、気温 9 度	卵塊が崩れかけ孵化中
2月27日(金)	47 (A: 26 B: 21)	晴れ、北風強 12 度	もち田 No2 13 個、ザリガニ釣り場西側 9 個
2月20日(金)	46 (A: 30 B: 16)	曇り、気温 9 度	もち田 No3 29 個、三角池 9 個

ヘイケボタル幼虫の放流

4月11日(土) 天気は小雨、気温11度。
参加者は松清さんほか4名でした。

9時にヘイケボタル幼虫 212 匹の放流をしました。松清さんが昨年7月より卵から孵化させ自宅で飼育してきたものです。昨年の放流は4月13日(日)でほぼ同時期でした。これらが無事に成虫となり6月後半の発光を期待したいものです。昨年、観察会では7月に4匹の発光を確認出来ました。今後放流地への餌のサカマキガイを定期的に入れていきます。(藤平三郎)



ヘイケボタル幼虫とサカマキガイ



放流

2015年の田植え 小さな応援者が参加してくれました



あれあれどこに植えるの？

9日(土)は曇りで小雨がありましたが、田植え日和となりました。多くの会員と近隣の親子2組が手伝って(?)くれました。うるち田はドロンコが深く足を取られて思うように進めませんが、会員の付添いもあって無事植えることができました。皆さん、是非稲刈りにも挑戦してください。本当にお疲れ様でした。(小笠原 智)



Aゾーン湧水池でカワセミの撮影に成功

2015年の田植え

今年の田植えはにぎやかな作業になりました。もち苗は宮城県古川産の「ミヤコガネ」うるち苗は柏産の「コシヒカリ」を藤心ライスセンターで育苗し、5月5日に引き取りました。6日（振替休）は好天に恵まれ、新会員を含む大勢が参加し、ゲストも名戸ヶ谷小学校の先生、児童はじめ、近隣の親子、又休憩後にも、名戸小の親子も体験参加してくれました。用意したもち田から予定外のうるち田まで植えることが出来ました。3日（日）に田んぼの草を取り、当日早朝にオサ（線）を引いて準備した甲斐がありました。（小笠原 智）



朝陽で苗の露が輝いていました



さあ、田植えの開始です



おとっと。深い田んぼでバランスをとるのが大変



10時の休憩：お茶がおいしいです



休耕田に大きなアオダイショウが出現しカラスと戦っていました。

絶滅危惧種の紹介

ヒメヘビイチゴはビオトープの湧水地近くの湿地で5月の連休の前後に咲いています。小さな黄色の花と鮮やかな緑色の葉は可愛くて上品な雰囲気漂わせています。花びらを触るとポロリと落ちてしまうほど繊細な植物です。

山地や北国では普通に見られる野草で、林や草原のやや湿った場所に生えています。平地では特に湿り気のある場所を好み、林に近い水田の周囲などで見ることができますが、近年少なくなってきたため千葉県では絶滅危惧種に指定されています。

ビオトープではヒメヘビイチゴの一部をBゾーン湿地に移植し、保全に万全を期したいと考えています。

ところで、ビオトープにはヒメヘビイチゴによく似たものがあります。ヘビイチゴとオヘビイチゴです。

ヘビイチゴは花が大きく、ヒメヘビイチゴの花茎7ミリに対し、その倍ほどの1.5センチもあります。また、ヒメヘビイチゴはヘビイチゴのような大きな赤い実をつけません。

もう一つのオヘビイチゴはヒメヘビイチゴによく似ていますが葉が5枚から7枚あり、ヒメヘビイチゴの3枚と異なります。

(佐々木光正)



ヒメヘビイチゴ



ヘビイチゴ

オヘビイチゴ



合同作業日の活動状況

今年最初の合同作業は2月21日（第3土曜日）より開始いたしました。各月の主に実施した作業状況をお知らせ致します。

2月21日（土）



回生の里裏のフェンス脇に切られた竹が千本以上、またゴミもありましたが、環境政策課職員やの会員の皆さんの2回にわたる作業によりきれいに片づけることが出来ました。

3月20日（金）



ホタルの生育場所の澱んだ水路の掘り起し作業を行いすっきりとした水路を造りました。また、田植えに備えて、田ん圃の畦の補修を行いました。

4月18日（土）



株踏み作業を4月11日と18日にかけて実施しました。又元肥料撒きを行い、田植え準備が本格的に開始です。
(菌田廣満)

新会員の自己紹介

西野 隆三 さん

この度、「名戸ヶ谷ビオトープを育てる会」に入会しました、西野です。私は現役で働いていた頃から、家庭菜園に興味を持って、約70坪ほどのやや広めの畑作業をかれこれ30年ほど続けて、今に至ります。



最初は、週末菜園主でスタートし、徐々に広げて、化成肥料や農薬に除草剤を活用した効率の良い菜園運営を重ねてきました。

定年退職し、年金生活者となってからは、自由時間が増え、いろいろな珍しい野菜や新しい品種にチャレンジし、楽しむことができました。その後、年齢とともに重労働の耕起と消毒作業の軽減を考え、堆肥の多用による土壌の改良を進めてきました。最近では、徐々に土が柔らかく、ふかふかして来て、耕運機の出番は殆ど無くなって来ています。それとともに、自然農法などにも興味がわき、旬を生かした栽培を旨として、出来るだけ農薬を使わない方向へ、順次進めて来ました。

そんな中で、ビオトープの活動を知り、興味を持ちました。それは、自分が菜園活動の中で学んで進めてきたことの究極の形なのかもしれないと思われたからでした。名戸ヶ谷の湧き水を生かした、自然の循環の中に組み込んだ自然農法からは、学ぶことが多いものと思います。

初参加の4月の作業時には、オタマジャクシと卵塊、セキレイ、コサギにカワセミまで見ることが出来ました。これって、すごいことですよ！これから、多くの会員と接し、皆さんの体験に基づき色々な知識を学ばせていただき、自分の菜園管理に生かしていけたらいいなあと思っております。

協働活動は、不得手ではありますが、皆様のお荷物にならぬように参加していきたいと思っております。何卒よろしくお願い申し上げます。

この件を長男に話したところ、現役世代ではあるが、都合のつく限り参加してみたいとの意見で、家族会員として参加登録致しました。よろしくお願い致します。

名戸ヶ谷ビオトープに来てみませんか？

交通：柏市東口より東武バス（1番乗り場）「名戸ヶ谷行き終点（名戸ヶ谷病院前）下車すぐ
面積：約 4,400 m² 湿性生物：57種 生きもの：161種（内、千葉県指定保護生物 26種）

（2013年、年間を通じて観察した生きものの種類）